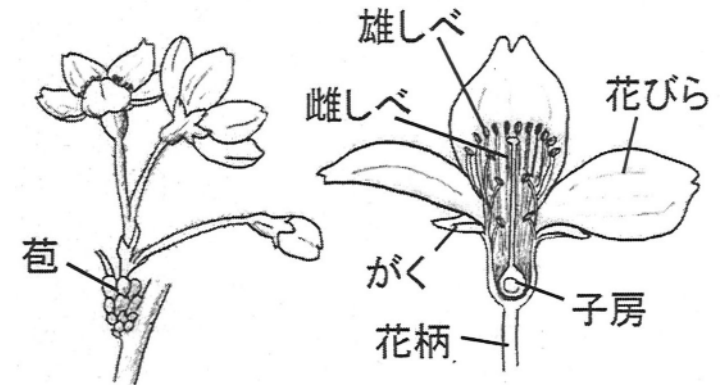


花びらと思いきや

___月___日 なまえ_____

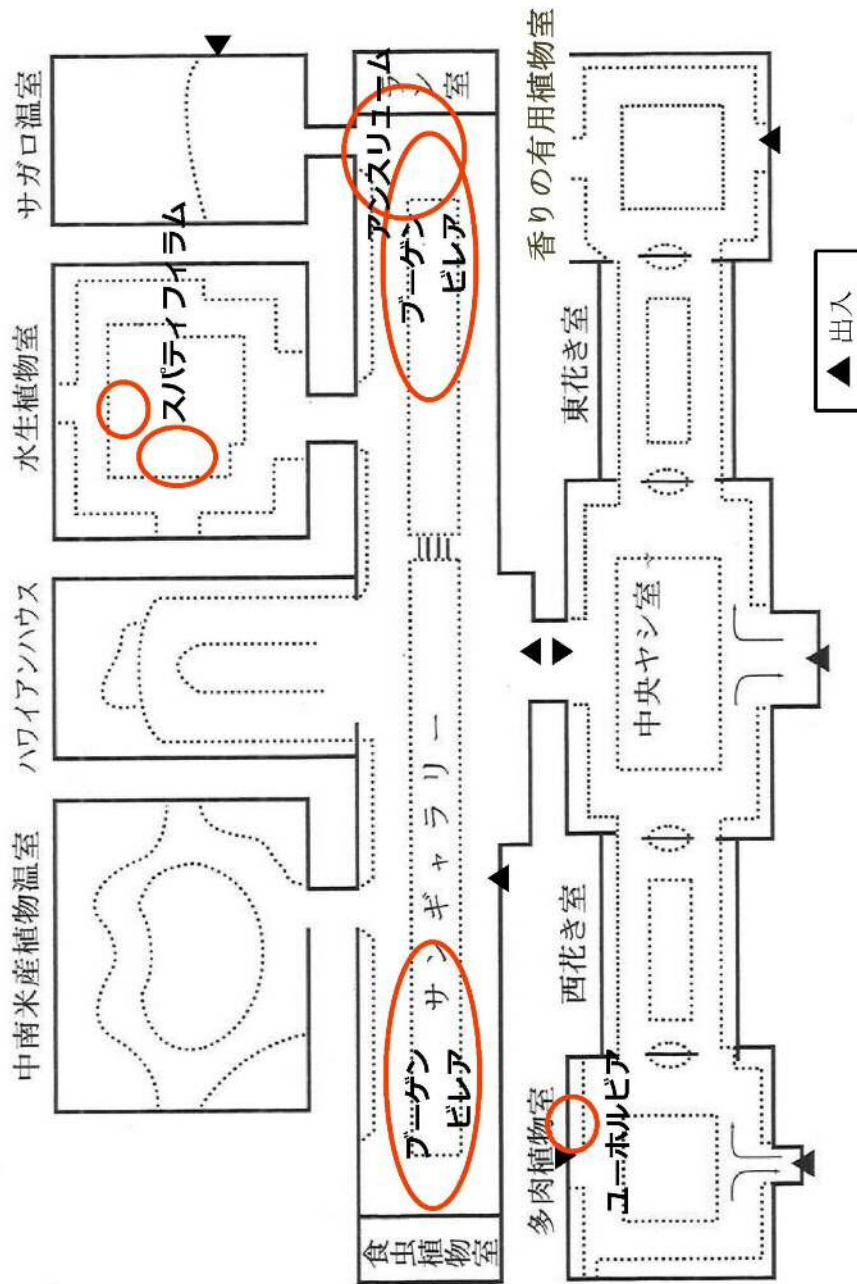
中にある地図を見ながら歩き、植物を観察して、答えを探そう。

図は、サクラの花の構造です。



花を構成している花びら（花弁）、がく、雄しべ、雌しべ（子房も含む）は、葉の変形したものと考えられています。

花びらのほかに、美しく化けている葉の仲間があります。苞（^{ほう}苞葉）です。上の図では、苞は小さく目立ちませんが、ハナミズキやヤマボウシ、ドクダミ、ハンカチノキ、ミズバショウ、ムサシアブミ、ブーゲンビレア、観葉植物のスパティフィラム、ユーホルビア、ポインセチアなど、たくさんあります。



ここでは、苞に包まれた本当の花はどんな形をしているのか、観察してみましょう。雌しべや雄しべはあるのかな？花びらはあるのかな？さあ、どうでしょうか。図の中に花を書いてみましょう。

スパティフィラムまたはアンズリウム（サトイモ科）

大型の苞は、^{びつえんぼう}仏炎苞と言います。花の集まった穂状のものは、^{にくすいかじょ}肉穂花序と言います。



ブーゲンビレア（オシロイバナ科）



花は1枚の苞にひとつです。

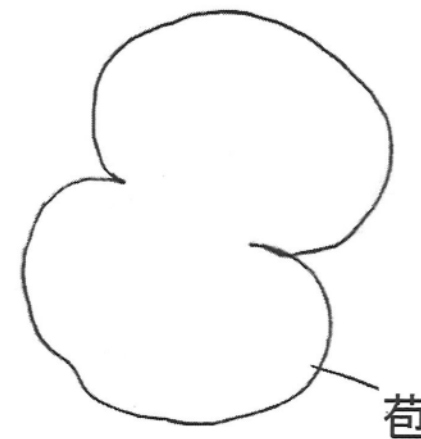
苞が3枚あるので、その隣にある小さな白い花は3個ついています。

このように見ても、苞は、花を抱いている葉だとわかります。

ユーホルピア（＝エウホルピア） （トウダイグサ科） 「黒摩利支天」「ミドリサンゴ」など

とげがあるので気をつけましょう。

苞が碗状（杯状）なので、碗状（杯状）花序と言います。

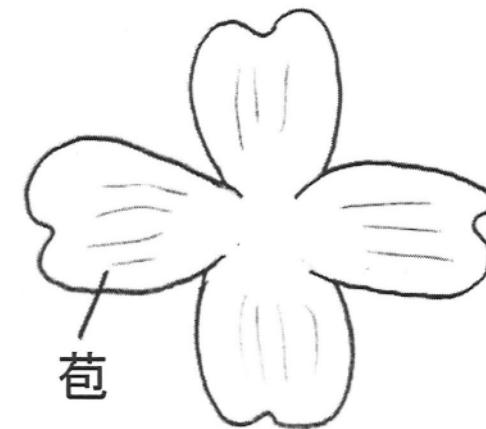


今が4月下旬から5月上旬なら、こちらも観察してみてください！

ハンカチノキ （中国産植物園林にあります）



ヤマボウシまたはハナミズキ （ヤマボウシは植物会館前、ハナミズキはアメリカ産植物見本園にあります）



真ん中の丸いものの中に雄花の集まったものと雌花（1個）があります。

真ん中に小さな花が集まっています。つぼみのものもあります。